

國際法外交雜誌

第106卷4号(2008年1月)

論説

ボーチャードと外交的保護

— 加藤 信行(北海学園大学教授) …… 1

国際裁判における既判力原則

— 玉田 大(岡山大学准教授) ……20

Early Modern European and Japanese Peace Theories Compared

— Harald KLEINSCHMIDT(Professor, University of Tsukuba) ……44

資料

判例研究・国際司法裁判所

ラグラン事件(ドイツ対米国)(判決・2001年6月27日)

— 国際司法裁判所判例研究会 ……75

解説・日本の国際法判例(2)

——2004(平成16)年——

— 「日本の国際法判例」研究会(第2期) ……96

アジア・アフリカ法律諮問委員会(AALCO)の最近の動向

— 石垣 泰司(アジア・アフリカ法律諮問委員会委員) ……148

書評論文

現代における国際取引規範

— 長田 真里(大阪大学准教授) ……168

紹介

児矢野マリ 著『国際環境法における事前協議制度

——執行手段としての機能の展開』

— 南 諭子(津田塾大学准教授) ……178

Michael W. Doyle and Nicholas Sambanis,

Making War & Building Peace:

United Nations Peace Operations

— 井上 実佳（津田塾大学大学院博士課程） ……185

齋藤嘉臣 著『冷戦変容とイギリス外交』

——デタントを巡る欧州国際政治, 1964~1975年——

— 佐古 丞（大阪学院大学教授） ……192

会報

国際法学会2007年度（第110年次）秋季大会 ……201

主要文献目録について ……224

総目次 ……228

第106巻3号(2007年11月)

論説

国際法学者・学説の役割 —— 戦争違法化を事例として ——

— 篠原 初枝（早稲田大学教授） …… 1

研究ノート

国連安全保障理事会の改革

— 滝崎 成樹（外務省総合外交政策局国連政策課長） ……39

最近のICSID仲裁事例における緊急避難をめぐる判断

— 山田 卓平（神戸学院大学准教授） ……56

資料

国連国際法委員会第59会期の審議概要

— 山田 中正（国際法委員会委員） ……77

紹介

水上千之 著『排他的経済水域』

— 深町 公信（熊本大学教授） ……115

島田征夫・杉山晋輔・林司宣 編集

『国際紛争の多様化と法的処理

栗山尚一先生・山田中正先生古希記念論集』

— 岩月 直樹（立教大学准教授） ……122

Dhisadee Chamlongrasdr,

Foreign State Immunity and Arbitration

— 坂巻 静佳（東京大学大学院博士課程） ……129

Charles Proctor,

Mann on the Legal Aspect of Money, 6th ed

— 竹下 啓介（首都大学東京准教授） ……134

Gus Van Harten,

Investment Treaty Arbitration and Public Law

— 岩瀬 直央美（兵庫県立大学准教授） ……138

第106卷2号(2007年8月)

論説

国際私法における法人

— 高杉 直 (同志社大学教授) …… 1

OSCE (欧州安全保障協力機構) の現地活動団

— 宮脇 昇 (立命館大学准教授) …… 23

研究ノート

現代企業の国際ビジネス展開からみた法と国家

— 早川 吉尚 (立教大学教授) …… 52

紹介

山本吉宣 著 『「帝国」の国際政治学 —— 冷戦後の国際システムとアメリカ』

— 初瀬 龍平 (京都女子大学教授) …… 77

Edward McWhinney and Mariko Kawano,
*Judge Shigeru Oda and the Path to Judicial Wisdom. Opinions
(Declarations, Separate Opinions, Dissenting Opinions)
on the International Court of Justice, 1993-2003*

— 玉田 大 (岡山大学准教授) …… 83

Erica de Wet,

The Chapter VII Powers of the United Nations Security Council

— 丸山 政己 (一橋大学大学院博士課程) …… 90

主要文献目録

国際法 — 柴田明穂・黒神直純 …… 96

国際私法 — 佐藤文彦・檜崎みどり …… 121

国際政治・外交史 — 竹村 卓・奥迫 元 …… 131

会報

国際法学会2007年度 (第110年次) 春季大会 …… 148

第106卷1号(2007年5月)

論説

地域的国際機構と国際テロリズム規制

—— EUによる国際テロへの法的対応と課題 ——

— 須網 隆夫 (早稲田大学教授) …… 1

Implementation of International Humanitarian Law in Japan:
Analysis of Recent Developments

— Umesh KADAM and Alexandre FAITE (Regional Legal Advisers, ICRC Kuala Lumpur) …… 36

資料

解説・日本の国際法判例 (1) —— 2003(平成15) 年 ——

— 「日本の国際法判例」研究会 (第2期) …… 57

国際法委員会の2006年選挙結果について
— 正木 靖（外務省国際法局国際法課長） ……96

紹介

黒神直純 著『国際公務員法の研究』
— 佐藤 哲夫（一橋大学教授） ……101

Robin Geiß,
、 *Failed States* ˆ: *Die normative Erfassung gescheiterter Staaten*
— 伊藤 一頼（静岡県立大学講師） ……109

Ramesh Thakur and Ere Haru,
*The Chemical Weapons Convention :
Implementation, Challenges and Opportunities*
— 阿部 達也（京都大学大学院博士課程） ……116

会報